

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）：獣医学研究科（博士課程）

共同獣医学専攻では、人類と動物の健康と福祉に貢献するという理念に基づき、高度獣医療の提供、人類と動物の健康、食の安全、並びに先進的な研究の発展に貢献できる国際的な人材を育成し、我が国のみならず世界的に獣医学を牽引する研究リーダーを育成するための教育カリキュラムを編成する。

- 1) 研究者としての基礎的な素養や研究倫理、コミュニケーション能力を涵養するため、共通基盤科目を設け、全教員が参加するオムニバス形式の講義あるいはゼミナールによるティーチングを実施する。
- 2) 高度な獣医学を身に付けることを目的に、講座科目（講義）を設け、主指導教員および第一・第二副指導教員によるゼミナール形式の個別指導を実施する。
- 3) 研究遂行上必須となる専門性の高い知識や実践的研究手技等の研究能力を培うことを目的に、研究指導科目を設け、主指導教員および第一・第二副指導教員による個別の研究指導を実施する。
- 4) 獣医学と関連する学問領域にも目を向け広い視野を持った研究能力を身に付けるため、獣医学学際科目を設け、多数の教員の参加するオムニバス形式の講義を実施する。
- 5) 自ら培った研究能力を社会に還元する方法を学ぶため、外部機関における先端実践科目を設け、獣医師の活躍する現場におけるインターンシップや、国内外の学術集会での発表、および海外留学による共同研究を行う。

上記の成績評価は、大学院成績評価基準に基づき行い、試験、レポート、研究報告、論文および平常の成績などにより判定する。